

令和7年4月末における特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺 の概要と対策について

別紙1

最近の特殊詐欺の特徴について(令和7年4月末時点)

別紙2-1参照

警察官等をかたり捜査(優先調査)名目で現金等をだましとる手口が依然として増加

- ・ 令和7年4月中の被害額は75.7億円と本年1月以降(1月51.8億円、2月54.4億円、3月65.4億円) **継続して増加**
- ・ 令和7年4月末時点の特殊詐欺の被害額(391.8億円)の **6割強**(247.3億円)を占める
- ・ 令和7年4月中の既遂1件当たりの被害額は753万円で、**他の特殊詐欺**の既遂1件当たりの被害額295万円の **約2.5倍**と多い
- ・ **認知件数は増加**、特に**20歳代、30歳代は継続して増加**
- ・ 20歳代、30歳代の既遂1件当たりの被害額は252万円
- ・ 40歳代以上の既遂1件あたりの被害額が1,052万円であることから、20歳代、30歳代の認知件数が増加することで、既遂1件当たりの被害額を押し下げていると認められる
- ・ 特殊詐欺の検挙件数・検挙人員は、前年同期比でいずれも増加

概要

対策

- ・ 警察官を名乗る者から電話で捜査対象となっていると言われた場合は **電話を切って警察相談専用電話(＃9110)**に御相談ください
- ・ それ以外の場合は、電話をかけてきた警察官の所属や名前を確認の上、**一旦電話を切り**、御自身で警察署等の電話番号を調べるなどして御相談ください
- ・ **携帯電話は、国際電話の着信規制が可能なアプリ**の利用をお願いします
- ・ **固定電話は、国際電話の発信を無償で休止できる国際電話不取扱受付センター**に申込みをお願いします。申請書類は最寄りの警察署で受領できます

最近のSNS型投資・ロマンス詐欺の特徴について(令和7年4月末時点)

別紙2-2参照

SNS型投資詐欺の認知件数・被害額は2か月連続で増加

- ・ 令和7年4月中の投資詐欺の認知件数及び被害額は、いずれも前年同期比で減少しているが、いずれも **2か月連続で増加**
- ・ 金銭等の要求名目は、令和7年3月中は「暗号資産投資」が最多であったところ、同年4月中は「**株投資**」が**最多**
- ・ SNS型投資詐欺の検挙件数・検挙人員は、前年同期比でいずれも増加

概要

SNS型ロマンス詐欺の認知件数は3か月連続で増加

- ・ 令和7年4月中のSNS型ロマンス詐欺の認知件数は**439件**と前月比で24件増加しており、本年1月から**3か月連続で増加**
- ・ 令和7年2月以降2か月連続で被害額は減少しているが、令和6年5月以降**毎月30億円以上の被害**が発生
- ・ SNS型ロマンス詐欺の検挙件数・検挙人員は、前年同期比でいずれも増加

対策

- ・ SNSやマッチングアプリ等を通じて親密に連絡を取り合っていたとしても、一度も**会ったことのない人**から**暗号資産等への投資**を求められた場合は、**詐欺を疑い**、すぐに**警察相談専用電話(＃9110)**に御相談ください
- ・ 暗号資産交換業者を利用する際は、金融庁・財務局に**登録された事業者**であるかを**金融庁・財務局のホームページで確認**してください
- ・ **マッチングアプリ**上で知り合った後、早い段階で**LINEに誘導**された場合は**詐欺を疑って**ください
- ・ このほか、事業者が提供する**防犯情報を確認**することも**有効**です